

植村直己 の精神を伝える

2011日本冒険フォーラム

— こんな日本人がいた そして 今もいる —

冒険の伝説・未来

日時 2011年5月15日(日)

会場 明治大学

駿河台キャンパス(お茶の水)内
アカデミーコモン3F アカデミーホール
東京都千代田区神田駿河台1-1(JR中央線 御茶ノ水駅下車3分)



参加無料 (入場整理券必要)

展示 【1階ロビー】 5月9日(月)～5月15日(日)

■植村直己の足跡と素顔展
植村直己の足跡やエピソードを紹介

●申込先

日本冒険フォーラム運営委員会(植村直己冒険館内)
〒669-5391 兵庫県豊岡市日高町伊府785
TEL:0796-44-1515 FAX:0796-44-1514
E-mail boukenkan@city.toyooka.lg.jp

●申込方法

①電話 ②FAX ③はがき ④E-mail ⑤植村直己冒険館窓口の
いずれかで、お名前(団体名)、ご住所、ご連絡先、参加人数を
ご連絡ください。

主催 / 兵庫県豊岡市 
(植村直己が生まれ、育った町)

共催 / 明治大学・明治大学創立130周年
記念事業実行委員会



プログラム

植村直己写真提供・文藝春秋

- 13:15 植村の生まれ育った町から
「コウノトリ悠然と舞うふるさと」 中貝 宗治(豊岡市長)
- 13:45 植村直己を語る
「我が友 ドングリは生きています」 廣江 研 氏
- 14:30 植村直己記録映像上映
「素顔の植村直己～夢果てしなく・愛かぎりなく～」
- 15:00 パネルディスカッション「踏み出した者たち」

ゲスト(予定)	俳優 市毛良枝さん	
パネリスト	登山家 天野利明 氏	冒険家・リヤカーマン 永瀬忠志 氏
	サバイバル登山家 服部文祥 氏	鷹匠 松原英俊 氏
コーディネーター	地平線会議代表世話人 江本嘉伸 氏	

兵庫県豊岡市は、国民栄誉賞を受賞した世界の冒険家・植村直己の精神を後世に継承しようと平成6年に植村直己冒険館を建設し、平成8年に「植村直己冒険賞」を創設しました。

これまで、山・海・川・空・極地等を舞台にした冒険者や、その冒険に関わった方、そして全国各地の多くの植村直己ファンに支えられて、植村直己顕彰活動を進めると共にチャレンジャーの応援を続けています。

これらの活動のステップアップとして、冒険者のチャレンジ精神を讃え、そして日本の「冒険文化」を考えるきっかけを創るため、全国のチャレンジャーが一堂に集い、植村直己の素顔を振り返りながら考える、「日本冒険フォーラム「冒険の伝説・未来」」を開催します。

植村直己を語る

廣江 研 (ひろえ けん)

1941年、鳥取県生まれ。明治大学山岳部で植村直己と同期生。大学卒業後も親しく付き合い、植村がマッキンリーで1984年2月に行方不明になったときは第2次捜索隊の隊長を務める。



パネルディスカッション コーディネーター

江本 嘉伸 (えもと よしのぶ)

1940年、神奈川県生まれ。ジャーナリスト。旅や冒険好きたちのネットワーク「地平線会議」代表世話人。チベット・モンゴル、登山などに関する学術調査や著作多数。



パネルディスカッション ゲスト (予定)

市毛 良枝 (いちげ よしえ)

1950年、静岡県生まれ。俳優。NPO法人日本トレッキング協会理事。知人に誘われた初めての登山が楽しく、自然の魅力に惹かれて、アウトドア全般に活動の場を広げる。以来、環境問題にも関心を深め、環境カウンセラーとしても登録している。



パネルディスカッションパネリストのみなさん

天野 和明 (あまの かずあき)

1977年、山梨県生まれ。植村直己にあこがれて明治大学山岳部に入部。卒業後も意欲的な登山活動を展開する高所クライマー。8000m峰6座登頂の実績を持ち、08年9月、「GIRI GIRI BOYS」のメンバーとしてインドのカランカ峰北壁を初登攀。09年フランスの「黄金のピッケル賞」を受賞。09年7月にはカラコルムヒマラヤ・スパンティーク北西壁ゴールデンピラー初登ラインの登攀に成功。



永瀬 忠志 (ながせ ただし)

1956年、鳥根県生まれ。日本縦断、オーストラリア大陸横断、アフリカ大陸横断、カラハリ砂漠横断、南アメリカ大陸縦断、サハラ砂漠縦断、モンゴル縦断などすべてリヤカーを曳いて歩き通し「リヤカーマン」と呼ばれる。世界各地でリヤカーを引いた距離は4万3千キロに達した。2005年「植村直己冒険賞」受賞。



服部 文祥 (はっとり ぶんしょう)

1969年、神奈川県生まれ。1996年にK2峰に登頂したほか、知床半島全山縦走、厳冬期黒部横断など高いレベルの登山を実践する。自然に対してフェアでありたいとの考えから、山行に最低限の装備しか持ち込まず、現地でも食料を調達する「サバイバル登山」を実践。その思いは銃を手に野生を仕留めて食料とする「狩猟サバイバル」へと展開してゆく。



植村直己の心をつなごうプロジェクト



植村直己冒険館

どんぐりフラッグ

この旗は、「植村直己の心をつなぐ」ことを目的に、会員証的な役割を果たすべく、旗にはシリアルナンバーが入っています。賛同していただいた方に販売(1枚500円)します。

生地色：白 プrint色：紺
サイズ：W30cm×H20cm

■フォーラムの記録集を作成し、ご希望の方に郵送させていただきます。(有料)下記までご連絡ください。

松原 英俊 (まつばら ひでとし)

1950年、青森県生まれ。慶応義塾大学卒業後、鷹匠・杏沢朝治氏に弟子入り。入門から1年足らずで独立。山形県の月山山麓に住み、日々、鷹と雪山に鷹狩を追う。現在、鷹狩りを生業とする日本でただ一人の鷹匠。山岳ガイドとしても活動。生き物のことを語らせたらこの人の右に出る者はいない。夏は沖縄の島で自給自足の縄文人の暮らしを楽しむ。



協力/兵庫県、財団法人植村記念財団・植村冒険館

後援/社団法人日本山岳協会、社団法人日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、社団法人日本山岳ガイド協会、NPO法人日本ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、日本ヒマラヤ協会、NPO法人日本トレッキング協会、日本アドベンチャーサイクリストクラブ、地平線会議、株式会社文藝春秋、株式会社山と溪谷社、東京新聞出版部、株式会社社説社、株式会社スイッチ・パブリッシング、ミズノ株式会社、株式会社ICI石井スポーツ、日本用品株式会社、株式会社好日山荘、株式会社モンベル、株式会社ヨシダテント、明治大学体育会山岳部・炉辺会

植村直己冒険館 来て、見て、感じる。

夢に向かってひたむきに生きた 植村直己
その熱き想いを感じる空間へ
ぜひ、お越しください。



◎お問合せ・参加申込先 植村直己冒険館 (2011日本冒険フォーラム運営委員会事務局)

〒669-5391 兵庫県豊岡市日高町伊府 785 TEL:0796-44-1515 FAX:0796-44-1514

E-mail:boukenkan@city.toyooka.lg.jp



植村直己顕彰事業「2011 日本冒険フォーラム」開催

～植村直己の精神を未来につなぐ～

冒険者のチャレンジ精神を讃え、日本の「冒険文化」を考える機会をつくるため、全国のチャレンジャーが一堂に集うフォーラムを次のとおり開催し、参加者を募集する。

1. 趣旨

国民栄誉賞を受賞した世界の冒険家・植村直己の精神を後世に継承しようと平成6年に植村直己冒険館を整備し、平成8年に「植村直己冒険賞」を創設した。

これまで、山・海・川・空・極地等を舞台にした冒険者や、その冒険に関わった方、そして全国各地の多くの植村直己ファンに支えられて、植村直己顕彰活動を進めると共にチャレンジャーの応援を続けている。

これらの活動のステップアップとして、フォーラムを開催する。

2. フォーラム

(1) 日 時

平成23年5月15日(日) 13:15～17:00 (12:00受付開始)

(2) 場 所

明治大学アカデミーコモン 3F アカデミーホール

(東京都千代田区神田駿河台 1-1)

(3) 内 容

【テーマ】

「冒険の伝説・未来」～こんな日本人がいた そして 今もいる～

【コーディネーター】

江本 嘉伸 氏 (えもと よしのぶ: 地平線会議代表世話人)

①豊岡市紹介

植村直己の生まれ育った町から 中貝 宗治 豊岡市長

「コウノトリ悠然と舞うふるさと」

②基調講演

植村直己を語る 廣江 研 氏 (ひろえ けん)

「我が友 ドングリは生きている」

③パネルディスカッション

《テーマ》 「踏み出した者たち」

《パネリスト》 天野 和明 氏 (あまの かずあき : 登山家)

永瀬 忠志 氏 (ながせ ただし : 冒険家)

服部 文祥 氏 (はっとり ぶんしょう : サバイバル登山家)

松原 英俊 氏 (まつばら ひでとし : 鷹匠)

《ゲスト》 市毛 良枝 さん (いちげ よしえ : 俳優)

④冒険・チャレンジ提言書の朗読



(4) 参加申込

- ①定員 1,050人【先着順】
- ②参加費 無料 (ただし入場整理券必要)
- ③入場整理券申込受付期間
2月16日(水)～4月10日(日)
- ④申込方法 電話、FAX、はがき、またはE-mailにより下記に申込みする。
- ⑤申込み先 日本冒険フォーラム運営委員会 (植村直己冒険館内)
〒669-5391 豊岡市日高町伊府785
TEL 0796-44-1515 FAX 0796-44-1514
E-mail boukenkan@city.toyooka.lg.jp

(5) 主催等

- ①主催 豊岡市
- ②共催 明治大学・明治大学創立130周年記念事業実行委員会
- ③後援 (社)日本山岳協会、(社)日本山岳会、日本勤労者山岳連盟、(社)日本山岳ガイド協会、NPO法人ヒマラヤン・アドベンチャー・トラスト、日本ヒマラヤ協会、NPO法人日本トレッキング協会、日本アドベンチャーサイクリストクラブ、地平線会議、(株)文藝春秋、(株)山と溪谷社、東京新聞出版部岳人、(株)舵社、(株)スイッチ・パブリッシング、ミズノ(株)、(株)ICI 石井スポーツ、日本用品(株)、(株)好日山荘、(株)モンベル、(株)ヨシダテント、明治大学体育会山岳部・炉辺会 (21団体)

3. 展 示

- ①植村直己の足跡と素顔展 : 植村の足跡やエピソードを紹介
○期日 5月9日(月)～15日(日)
○場所 明治大学アカデミーコモン1F ロビー展示場
- ②チャレンジャー紹介展 : チャレンジャーが冒険の途中で撮影した写真および夢メッセージを紹介
○日時 5月15日(日) 11:00～18:00
○場所 明治大学アカデミーコモン3F アカデミーホールロビー
- ③植村のふるさと豊岡市 : 植村の生まれたふるさと豊岡市を紹介
○日時 5月15日(日) 11:00～18:00
○場所 明治大学アカデミーコモン3F アカデミーホールロビー

4. 記録集の作成

フォーラム終了後、記録集を作成し希望者に販売。

5. 問合せ

兵庫県豊岡市 植村直己冒険館内
日本冒険フォーラム運営委員会 TEL 0796-44-1515